

聖書の集い（第4回）

2014年9月10日

古本 靖久

1、聖歌 15番 「来る朝ごとに」

2、お祈り

3、聖書 「マルコによる福音書 10章46節～52節」

（新約聖書 83 ページ）

4、今日の内容

できること、できないことの違い ー力の法則ー

今回の内容に入る前に、先日わたしの周りで起こった出来事をお伝えしたいと思います。用事があって妻と一緒に100円ショップに出かけたときのことです。小学校低学年くらいの男の子がいました。その子はお店の商品である包装紙の筒を振り回していました。するとそこに、その子のお姉さんがやってきました。注意するのかな、と見ていますと、その子も同じ商品を手にとって、チャンバラごっこを始めました。さすがに見て見ぬふりもできず、「その商品、買うの。買わないのだったら、やめとき」と注意をしました。

しばらく買い物を続けていると、一人の男性が近づいて来ました。彼はわたしに向かって言います。「俺の子どもに何か言うたんか？商品手に持って眺めてただけで怒られた言うとるけど」。とても怖い顔で睨みつけながら、わたしに迫ってきます。見ると向こうの方で、さっき注意した男の子がニヤニヤとこちらを見えています。

わたしは冷静に、お店の商品で叩き合いをしていたこと、そしてそれを注意したことを告げました。お父さんは「子どもは触っただけだと言っている」と何度も言っていました。最後には大声で子どもを怒鳴りはじめました。

さて今日は、「できること、できないことの違い」について学んでいきたいと思います。人間は、生まれてから何年も、ひとりで生きていくことができません。動物たちの多くは生まれて数時間後には立って歩くことができますし、数年たてば親元を離れ、生活をします。しかし人間は生まれてから十数年（あるいはもっと）、親や周りの人たちに面倒を見てもらいながら成長していきます。この「親」というのは神さまがわたしたち人間に与えてくださった大切な役割だと言えます。

けれども子どもたちは、自分たちには出来ないことは何もなく、自分は強くて何でもできると思っています。どんなことに対しても影響を与えることができると思うのですね。そして出来ないことがあると、それは周りの人が悪いからであり、失敗は他人のせいにしてしまうのです。

冒頭に話した親子を思い出してみましよう。男の子は店の商品で遊びだしました。わたしたちだったら思います。商品は店の物であり、それが壊れるようなことをしてはいけません。また店の通路で暴れてはいけません。なぜならそこは自分の家ではないから。

ところが、男の子の頭の中にはそのような考えはなかったのでしょうか。逆に、自分がやっていけないことではないと思うのです。だから店の商品が壊れようと関係ないし、他のお客さんがいたとしても問題はないと思ったのかもしれませんが。だから注意をしたわたしは、男の子の自由を阻害する、ただ単に邪魔な存在でしかなかったのでしょうか。そこで親に、わたしを何とかしてくれと訴えたのです。

しかしここで、わたしは考えるのですね。その子は、できることとできないこと、やれることとやってはいけないことを、今まできちんと伝えてもらってきたのだろうか。すべてが自分の自由になることではないことを聞かされてきたのだろうか。

子どもは生まれながら、完璧主義者だと言われます。だから、自分が不完全な者だと認めたくないし、他人に言われたくもありません。けれどもわたしたち大人の中に、完璧な人間はいるのでしょうか。生まれてから今まで、一度も失敗をしたことのない人など、存在するのでしょうか。

子どもたちは必ず壁に当たります。失敗をし、出来ないことのある自分に気づき、物事には限界があることを知るのです。その時に子どもを成長させてくれるもの、それは慰めてくれる人、理解してくれる人の存在です。

わたしは、子どもの前で失敗をしたり、泣いている姿を見られることが好きではありません。しかし、その弱い自分の姿を子どもが知った時に、子どもは思うのではないのでしょうか。「自分も弱くていいんだ。完璧じゃなくてもいいんだ」と。そしてできることもたくさんあるけれども、できないこともあるということを学びながら、子どもは成長していくのです。

今日の聖書は、バルティマイという人の話でした。彼は目が見えませんでした。でもイエス様の存在を知り、手が届くところにおられることを感じた時に大声で叫び、助けを求めました。子どもたちにとって、わたしたち親は、何があっても見放さず、いつでも助けの手を差し伸べる存在でありたいと思います。そして神さまとは、子どもたちにとっても、そしてわたしたちにとっても、「助けて！」という叫びを聞いてくださる方なのです。

<テキストのご紹介>

「聖書に学ぶ 子育てコーチング」

ヘンリー・クラウド、ジョン・タウンゼント共著、中村佐知訳

発行：あめんどう 定価 2,000 円＋税

<ホームページのご紹介>

「桃山基督教会ホームページ」

<http://momoyama.hannnari.com/>

(ももやまドットはんなりドットコム) ※n は 3 つ

トップページ → 右上の「メッセージ」をクリック

→ 聖書の集いの該当箇所をクリック

<教会学校・はとぼっぼクラスのご紹介>

「教会学校」

毎週日曜日 午前 9 時 30 分～午前 10 時

「はとぼっぼクラス」

毎月第 2 日曜日 午前 10 時～正午

<大人の礼拝のご案内>

「大人の礼拝」

毎週日曜日 午前 10 時 30 分～正午

どなたでもお気軽にご参加ください